



「か」「こそ」「といて」が付く接続詞及び接続
表現：

「だからか」「だからこそ」「だからといて」を
めぐって

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 北海道教育大学 公開日: 2017-09-19 キーワード: 作成者: 馬場, 俊臣 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00006594

「か」「こそ」「とって」が付く接続詞及び接続表現
——「だからか」「だからこそ」「だからとって」をめぐって——

馬 場 俊 臣

北海道教育大学札幌校日本語学研究室

On the Japanese Conjunctions and Conjunctive Expressions
followed by "ka", "koso" and "to-itte"

BABA Toshiomi

Department of Japanese Linguistics, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education

概 要

接続詞「だから」は、「か」「こそ」「とって」が後に付いた「だからか」「だからこそ」「だからとって」という形で使うことができ、接続詞「だから」の特徴の一つとされる。本稿では、「だからか」「だからこそ」「だからとって」という形が存在する理由について、「か」「こそ」「とって」が付く従属節の意味的・形態的特徴及び指示詞を含む複合的な接続表現の観点から検討することを通して、「か」「こそ」「とって」が付く接続詞及び接続表現の特徴を考察した。考察の結果、①接続詞「だから」が「だからか」等の形で使われる理由は「から」を伴う従属節に「か」「こそ」「とって」が付くことができさらに指示詞を伴わない形の「だから」が一語の接続詞として扱われているためであること、②「そのせいで」「そうして」など指示詞を伴う複合的な接続表現にまで範囲を広げると「と」「から」「とって」が後に付くことができるのは「だから」だけの特徴ではないことを示した。

1. はじめに

接続詞「だから¹」は、(1)～(3)のように、「だから」の後に「か²」「こそ」「とって³」が付いた「だ

1 「ですから」も含む。なお、「ですからか」は(ア)のように実例はあるが不自然さが残る。この不自然さについては、馬場俊臣(2016)で「[です]による相手意識と「か」による自問のニュアンスとが相容れないために生じるものと思われる。」(：12)と指摘している。

(ア) 紅茶専門店、ですが、英国寄りではなく、大巾に産地(セイロンことスリランカ)寄りのお店です。ですからか、天井は高いんですが、アジア雑貨etc等ですこし雑多な雰囲気になってまして、ゆったりはしてません。(http://

からか」「だからこそ」「だからといって⁴」という形で使うことができる。

- (1) 道路標示の宇津谷の右手にピンク色に塗られた鉄の小橋が見える。その袂に芭蕉の句碑というのがある。七十八歳の人が書いた字だと説明はあるのだが、ではなんと読むのか、その句の紹介がないので、読めはしない。だからか、この句碑のことを書いた本はない。(PB52_00071)⁵
- (2) 日本の経営システムには誇りを持っていいのですが、西欧社会にいきなり持ち込むと刺激が強すぎるかも知れません。かえって危険視されることもある。だからこそ、日本人がいかに城から外へ出て行って上手に説明するかが大事になるのです。(LBa2_00020)
- (3) 確かに、ストレスを過剰に受け止めてしまう傾向は、性格に根ざしている。だが、だからといて性格を変えようとしても、それほど簡単ではない。(PB44_00330)

「だから」以外の代表的な接続詞((4))について、それぞれ「か」「こそ」「といて」を後に付けた形で使われるか否かを確認すると、「か」「こそ」「といて」がともに後に付く接続詞はない⁶。

- (4) 「それで、そこで、したがって、すると」(順接型)、「しかし、だが、でも、ところが」(逆接型)、「そして、さらに、また、および」(添加型)、「それとも、あるいは、または」(対比型)、「ところで、さて、それでは」(転換型)、「すなわち、つまり、例えば、要するに」(同列型)、「ただし、なお」(補足型)

接続詞の後に「か」「こそ」「といて」がともに付いて使われることは「だから」の大きな特徴である。本稿では、「だからか」「だからこそ」「だからといて」という形が存在する理由を検討することを通して、「か」「こそ」「といて」が付く接続詞及び接続表現について見ていく。

「だからか」「だからこそ」「だからといて」の形の存在理由に関する先行研究として、劉怡伶(2006)がある。劉怡伶(2006)は、「だから」の直後に「か」「こそ」「といて」を付けることができること及び「だから」の直前に「しかし、でも」が現れることがあることを根拠として、「話し手は「だから」を用いる時、自分の中にある知識「P→Q」が聞き手の中に成立していない(または成立しない)と仮定する場合がある。」(:136)という「因果関係の知識の成立に対する話し手の認識・認定の特徴」(:131)が「だから」にあるとしている。劉怡伶(2006)は、「だからか」「だからこそ」「だからといて」の形の存在と「だから」の「因果関係の知識」に関する特徴とを関連付けて論じている。

この劉怡伶(2006)の主張に対して、馬場俊臣(2006)では、「しかしだから」という表現は自然さが低

tabelog.com/kanagawa/A1401/A140104/14000125/dtlrvwlst/4241243/) (2016.3.24閲覧)

- 2 接続詞の選択を表す「か」の付加((ア))や接続詞の用い方に対する疑いの念などを表す「か」の付加((イ))は対象から除く。

(ア) 彼は持っている人だなあということがある。持っているは動詞だから、持っている「もの」をここでは fortuna と定義しよう。(中略) その道の一流と呼ばれる人はたくさん fortuna を持っている。だからか、しかしか、派閥の要素にはならない。(http://www.minamiazabu.net/article/160706/160706tayori09.pdf) (2017.3.16閲覧)

(イ) 今日、僕のところに黒い三連星... つまり、(どこがつまりか) 新品の黒いパソコンが来ます。(http://ameblo.jp/hm1981/entry-11937847705.html) (2017.3.16閲覧)

- 3 発話に関する実質の意味を表す「といて」((ア))は対象から除く。

(ア) 彼はただ一言「だから」といて、すぐに黙った。(作例)

- 4 「だからって」「だからとて」というバリエーションもある。

- 5 「PB……」「LB……」等で典拠を示した用例は「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)の用例であり、サンプルIDを示している。「中納言 2.1.1」(https://chunagon.ninjal.ac.jp/)を利用した。なお、典拠を示していない用例は作例である。

- 6 「か」は「それがか、したがってか」などの用例があり、「こそ」は「それでこそ、そしてこそ」などの用例がある。これに関しては、4節脚注26及び5節参照。なお、「またか」「なおこそ」「さてこそ」の形はあるが、副詞の意味であったり古語であったりするため取り上げない。

いという問題⁷」「だからこそ」「だからか」「だからといて」全体の特徴を「だから」単独の特徴と同一視することはできないという問題」「因果関係以外の他の接続タイプの接続詞には一般化できないという問題」(：13) などがあることを指摘し、「劉論文の主張を維持するためには、それぞれの問題に対して適切な説明がなされる必要がある。」(：13) としている。

本稿では、「だから」が「だからか」「だからこそ」「だからといて」といった形を取り得る理由を、劉怡伶(2006)とは異なった観点から分析する。本稿では、主に「か」「こそ」「といて」が付く従属節及び指示詞を含む接続表現と関連させて分析していく。

次節以下では、まず2節で「だからか」「だからこそ」「だからといて」の基本的意味を確認したうえで、3節及び4節で「か」「こそ」「といて」が付く従属節の意味的・形態的特徴及び指示詞を含む複合的な接続表現の観点から「だからか」「だからこそ」「だからといて」の存在理由を検討する。さらに、5節で「それだから」「それで」など他の原因・理由を表す接続詞に「か」「こそ」「といて」が付いた形について補足的に触れる。6節でまとめを行う。

2. 「だからか」「だからこそ」「だからといて」の基本的意味

本節では、「だからか」「だからこそ」「だからといて」の基本的な意味を、先行研究に基づきながら簡潔にまとめる。

まず、「だからか」は、原因・理由を表す接続助詞「から」に助詞「か」が付いた(5)の「～からか」⁸と基本的に同じ意味を表す。

(5) 土地がちがうからか、ブルーベルやヒースが根付かない。(PB29_00461)

こうした原因・理由を表す「～からか」を扱った代表的な先行研究として、服部匡(1992)、安達太郎(1995)、野田尚史(2007)がある。服部匡(1992)は、「～のか」「～せいか」「～からか」「～てか」等は「S⁹の背後に存在する事情についての知識・判断の不確実」(：59)を表すとしている。また、安達太郎(1995)は、「～からか」のような「原因理由節に「カ」が付加されたものは、従属節と主節が因果関係という関係で結び付けられるということを不確定的に表示する表現」(：250)であるとして「因果関係の不確定表示」(：250)と呼んでいる。さらに、野田尚史(2007)は、文の一部だけを対象としてその対象部分が話し手の主張ではないことを表す形式を「主張回避形式」(：36)と呼び、「～からか」は「連用成分」の「不定系の主張回避形式」であると位置づけている¹⁰。

「だからか」は、先行する文の内容が(「だからか」に続く文の内容の)原因・理由であることを「不確定」として示す、あるいは原因・理由であると「主張」することを「回避」することを表す。

次に、「だからこそ」であるが、接続助詞「から」に取り立て助詞「こそ」が付いた(6)のような「～からこそ」を扱った前田直子(1997, 2008, 2009)の一連の研究で、「～からこそ」の基本的意味が示されている。

7 馬場俊臣(2016)は、「だから」の直前に逆接の接続詞が現れる場合は、「しかしだから」のように「だから」単独ではなく、「しかしだからこそ」のように「だからこそ」の形の方がより自然であることに基づいて、直前に逆接の接続詞が現れるのは「だから」ではなく「だからこそ」全体の機能が関わっているとしている。

8 従属節で使われる場合は「～からか」のように「～」を原則的に付け、主に文頭で接続詞及び接続表現として使われる場合は「だからか」のように「～」は付けずに示す。

9 「S」は、文全体から「か」に先立つ部分を除いた残りの部分である(服部匡1992：58)。

10 「不定系」以外に「推量系」「引用系」を挙げている。3節参照。

(6) この言葉は田淵だからこそ重みがあるのである。(PB32_00168)

前田直子(2009)は、接続助詞「から」に「こそ」の付いた「～からこそ」の機能を(7)のように述べている。

(7) 「XからこそY」において、前件は後件の原因・理由となっているが、「から・ので」の場合との違いは、「からこそ」の場合は「逆説的な原因・理由」を表すという点である。(中略)「XからこそY」の場合、最も典型的な意味関係は、原因である前件に望ましくない事態が起こり、そこからは同じく望ましくない事態が予測されるが、実際には逆で望ましい事態が発生することを後件で述べるというものである。(中略)以上のように、後件に望ましい事態が来ることが典型的であるが、そうでない場合もあり、その場合は、前件が後件の原因・理由であることを強調し、後件の原因・理由となっているのは他にもない前件であるということを述べる。(前田直子2009:178-179)

「だからこそ」も、同様に「逆説的な原因・理由」「原因・理由の強調」を表す。

最後に、「だからといって」であるが、代表的な先行研究として、接続助詞的機能を持つ「～といって」等を扱った藤田保幸(1987, 1998, 2000)の一連の研究がある。藤田保幸(2000)では、「～といって」は接続助詞「から」に「といって」が付いた(8)のような「～からといって」の形で使われることを指摘し、「～といって」について(9)のように述べ、「～といって」「～からといって」は「推論の否認」を表すとしている。

(8) 言語学者だからといって、いろんな言葉が話せるとは限らない。(作例¹¹)

(9) つまり、「トイッテ」「トイッテモ」は、ある事柄をとり上げる前件句を形成し、その事柄からそれを根拠として出てくるであろう推論を見越して、それを否認する後件句を導く助辞的形式なのである。(藤田保幸2000:421)

「だからといって」も、「～からといって」と同様に、「推論の否認」を表す。

3. 「か」「こそ」「といって」が付く従属節

接続詞「だから」は、助動詞「だ」と接続助詞「から」が複合して一語の接続詞として扱われるようになったものである。接続助詞「から」を伴う従属節(カラ節)は、2節で挙げた(5)(6)(8)のように、「か」「こそ」「といって」を後に付けることができる。

従属節に「か」「こそ」「といって」を付けることができれば、その従属節を含む複文を二文に分けて表現した場合に、その二文を繋げる働きをする表現に「か」「こそ」「といって」を付けて言い換えられると予想される。

本節では、どのような従属節に「か」「こそ」「といって」を付けることができるのかを見ていく。

まず、「か」を付けることができる従属節であるが、これに関しては、野田尚史(2007)が参考になる。

野田尚史(2007)は、「文の一部を対象に話し手の心的態度を表せる」形式として「話し手の主張ではないことを表すもの：不定、推量、引用」(:39)があることを指摘し、このような形式を「主張回避形式」と呼んでいる。「主張回避形式」は、意味の観点から(10)のように、「不定系」「推量系」「引用系」¹²の3種

11 藤田保幸(2000)の例文「言語学者だからといって(も)、いろんな言葉が話せるとは限らない。」(:421)を一部変更した。

12 接続詞「だから」に「だろう」が付いた「推量系」の「だからだろう」の形もある((ア))。「だからだろう」にさらに「か」の付いた「だからだろうか」の形もある((イ))。また、接続詞「だから」に「と」が付いた「引用系」の「だからと」も稀であろうが使うことができる((ウ))。

類に分けることができる（：39）とし、さらに、「主張回避形式が対象にする4つのレベル」の一つに(11)の「連用成分レベル」を挙げ「(ク)の連用成分レベルを対象にするというのは、「若いから」のような従属節をはじめとする連用成分を対象にするものである。」（：40）としたうえで、「か」が付く「不定系の主張回避形式が対象にできる連用成分」（：42）として(12)の5種類を挙げている。

- (10) (ウ) 不定系：若いからか，アルバイトの面接さえ断られた。
 (エ) 推量系：若いからだろう，アルバイトの面接さえ断られた。
 (オ) 引用系：若いからと，アルバイトの面接さえ断られた。（野田尚史2007：39）
- (11) (ク) 連用成分レベル：若いからと，断られた。（野田尚史2007：40）
- (12) (サ) 原因・理由を表す成分：「～から」「～ため」「～せいで」など
 (シ) 時を表す成分：「～とき」「～ころ」「～前」「～後」など¹³
 (ス) 目的を表す成分：「～ために」「～ように」など¹⁴
 (セ) 事情を表す成分：「～の」（もう寝たのか，電話に出ない。）
 (ソ) 状況を表す成分：「～て」（勝算がないと見てか，退却した。）（野田尚史2007：42）

それぞれの用例を次に挙げる。ただし、「時を表す成分」「目的を表す成分」は「～とき」「～ために」のみに挙げる。

- (13) 角部屋だからか，窓が二面にあり，日差しはふんだんに入りそうだった。（LBo9_00202）
 (14) 明朝は日帰りゴルフだからと早寝したためか，二時過ぎに目覚めてしまった。（PB52_00044）

(ア) 宗教家然として語ることが，唯一自分を確認する方法だったのだ。だからだろう，彼の弟子だった連中も，とにかく法廷で気持ち良さそうに語りまくった。（LBs3_00062）

(イ) 彼女はほくのことを，貧乏な人から金を巻き上げて旅行していたと誤解している。だからだろうか，だまされまいと，疑わしげな目でほくを見た。（LBt6_00026）

(ウ) 書く事が浮かんでこないので書けるわけがない。そして，内容があったとしても，それを「起」から「結」へとたどり着く筋書きに悩んでしまう。要は段取りが悪いのだろう。だからと，諦めてもしょうがない。練習を積み重ねていくのみ。（<http://baranaheya.blog66.fc2.com/blog-date-201008.html>）（2017.3.16閲覧）（「梵天」）（「梵天」と付した用例については脚注15参照。）

「だから」以外の接続詞では、「それでだろう」「それでだろうか」「そこでだろうか」の用例を見付けることができた。ただし、「そこでだろうか」は稀であると思われる。

(エ) 私はそれから普通に仕事をしていたが，キミコは仕事を辞めてしまったらしい。最初の成功で味を占めたのか，株で生活を始めたようだ。ただし，大体は，失敗して大損している。それでだろう，彼女は，時々，株の情報を持ち込んで来ては私に殺人の要求をして来た。（<http://ncode.syosetu.com/n6589h/>）（2017.3.11閲覧）

(オ) 若いにもかかわらず，スピースは歴史に詳しい。ダラスで過ごした十代には，ベン・ホーガンやバイロン・ネルソンの本を読みあさっていたという。それでだろうか，彼は今年の全英オープンで1打足りずにプレーオフに進めなかったことに触れると機嫌が悪くなるのだ。（<http://jp.pgatour.com/pgatour/news/2015.08.15.jordan-spieth-round-three-pga-championship/>）（2017.3.11閲覧）

(カ) 日本でも夏は怪談本が良く出る。ある時期までは起承転結が明確過ぎて「それは誰が見ていたの」などとからかわれるものも多くあった。完全に創作で怖いと思う物語を多作するのは難しい。どうしても玉石混淆となる。失敗怪談は割と目も当てられない。そこでだろうか，話者がいること前提の怪談が登場した。実録怪談，と言われるものだ。これが今の怪談本の大きな流れの一本となる。（<http://liliope100.blog.fc2.com/blog-entry-617.html>）（2017.3.11閲覧）

13 「～時だったか」のように「だった」が加わるとしている（野田尚史2007：42）。

14 服部匡（1992）は，目的を表す「～ため（に）」に「か」の付いた「～ため（に）か」は「許容度は必ずしも高くない」（：63）としている。また，安達太郎（1995）は，目的を表す「～ため（に）」について「カ」の付加を受けにくい」（：258），（目的の意味を表す可能性のある用例がごく少数見付かったが）「因果関係を表す節の生産性とは比べものにならない」（：262）としている。

- (15) 午後からの出張があるせいで午前中はなにかと慌ただしい。(http://takeohu.sports.coocan.jp/12-early-in-nov.htm) (2017.3.23閲覧) (「梵天」¹⁵)
- (16) 2年生の時だったか、クラブで足の裏の「骨が欠ける」事件が発生した。(OY14_47213)
- (17) よし池のアオサギも寒そうで体を温めるためにか時々飛んで場所を変えていた。(OY14_47142)
- (18) もう大丈夫と判断したのか、天武は自分の本音を出した。(PB29_00533)
- (19) 熊谷曹長はその時の感激を思い出してか、声を詰まらせる。(LBo9_00197)

次に、「こそ」を付けることができる従属節については、前田直子(2008)が参考になる。

前田直子(2008)では、「こそ」を伴う従属節「～からこそ」「～ばこそ」「～てこそ」の意味・用法を検討しており、従属節と取り立て助詞(は、も、こそ、さえ等)との接続の可否の一覧を示している。「こそ」が後に付く従属節形式として「て」「から」「ば」¹⁶「前・時・後」「てから」「ため(に)(目的)」を挙げ、「こそ」が後に付かない従属節形式として「と・たら・なら(条件)」「ので・ために(原因・理由)」「けれども・が(逆接)」「し(並列)」を挙げている。

それぞれの用例を次に挙げる。ただし、「前・時・後」は「時」のみを挙げる。

- (20) 教師が自ら考える力を持ってこそ、子どもに学ぶ意欲がわいてくる。(PN2f_00010)
- (21) 政権入りする前で自由な立場だったからこそ、あれだけの事が言えた。(PB13_00355)
- (22) 地獄めぐりを通してしか浄土に接近できない生を生きる庶民であればこそ、見世物小屋を楽しみ、生のおどろおどろしさを、その場だけでも引き受けてくれることに安堵するのだ。(LBk7_00060)
- (23) 外からでは見えない、互いの人格や才能を発見した時こそ真の互いの顔が見えてくる。(LBs3_00024)
- (24) 基本の知識を得てからこそ、自由に独創的な考え方ができる。(http://www.kyoto-art.ac.jp/production/?p=10010) (2017.3.12閲覧)
- (25) 同じ人間でも、国や民族によって負っている文化や歴史には違いがある。その違いを認め合い、共存を図るためにこそ、私たちは英語を学ぶのである。(LBp8_00010)

最後に、「といて」を付けることができる従属節であるが、これに関しては、管見の限りでは先行研究はない。

ここでは、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を利用して「といて」¹⁷が付いている接続助詞を調査¹⁸した結果を示す。

検索で得られた用例総数は3,150件であり、「から」3,116件、「て」14件、「が」7件、「ば」4件、「で」3件、「し」「ちゃ」「に」「けど」「で～」「ながら」(以上各1件)の用例が見付かった。ただし、「から」以外

15 「梵天」と付した用例は、『国語研日本語ウェブコーパス』(NWJC)の検索アプリケーション「梵天」(http://bonten.ninjal.ac.jp/)を利用して検索した用例である。また、ウェブ上の用例は、google検索(https://www.google.co.jp/)を利用した。

16 前田直子(2008)では、「ばこそ」は「原因・理由」を表すとしている(：161)。「原因・理由」以外に「より日常的には使われない、古めかしい用法」として「反語用法」がある(：162)ことも指摘しているが、「反語用法」は本稿では対象としない。

17 「といても」のように「も」が続く用例は対象から除いた。

18 「中納言 2.2.2.1」[BCCWJ データバージョン 1.1]を利用した。「格助詞「と」+動詞「言う」+接続助詞「て」(係助詞「も」の後続は除外)の連続を検索(短単位検索)した。検索式は次の通りである。「キー：品詞 LIKE "助詞-接続助詞%" AND 後方共起:(語彙素="と" AND 品詞 LIKE "助詞-格助詞%") ON 1 WORDS FROM キー AND 後方共起:(語彙素="言う" AND 品詞 LIKE "動詞%") ON 2 WORDS FROM キー AND 後方共起:(語彙素="て" AND 品詞 LIKE "助詞-接続助詞%") ON 3 WORDS FROM キー AND 後方共起:NOT((語彙素="も" AND 品詞 LIKE "助詞-係助詞%")) ON 4 WORDS FROM キー WITH OPTIONS tglKugiri="|" AND tglBunKugiri="#" AND limitToSelfSentence="1" AND tglFixVariable="2" AND tglWords="20" AND unit="1" AND encoding="UTF-16LE" AND endOfLine="CRLF";」

は、(26)のような実質的用法の「言う」の用例であるか、または(27)のような誤解析の用例である¹⁹。形式的な「といて」が後に付く接続助詞は(28)のように「から」に限られる。逆接的意味を持つ「といて」が「から」の後に付くことによって、原因・理由の「から」の推論を否認する内容が後続する。

(26) そのうち、あそこのシイタケがうんと出とるよとか、今夜は会合があるけどといてくれる人も出てきたんです。(PM51_01352) (実質的用法の「言う」)

(27) 今朝早く栗原から電話で官邸に来られたしといて来ましたから参りました (OB3X_00234) (「し」を接続助詞と誤解析している例)

(28) 調査研究に従事していたからといて、私が諜報の専門家として伸びてゆくのに邪魔になるようなことはなかった。(PB32_00122)

なお、原因・理由を表す従属節であっても、「ので」「ため(に)」「せいで」は、(29)～(31)のように「といて」を後に付けることはできない²⁰。

(29) *雨が降ったのでといて、試合は中止になったわけではない。²¹

(30) *雨が降ったため(に)といて、試合は中止になったわけではない。

(31) *雨が降ったせいでといて、試合は中止になったわけではない。

以上のように、接続詞「だから」に「か」「こそ」「といて」を付けることができるのは、もともと、意味的・形態的に、原因・理由を表す接続助詞「から」を伴う従属節(カラ節)に「か」「こそ」「といて」を付けることができることによるものである。

上に挙げた(13)(21)(28)の「～からか」「～からこそ」「～からといて」を含む複文を二文に分けて表現した場合、二文を繋げる接続詞「だから」に「か」「こそ」「といて」を付けて(13')(21')(28')のように「だからか」「だからこそ」「だからといて」を用いて言い換えることができる。

(13') 角部屋だ。だからか、窓が二面にあり、日差しはふんだんに入りそうだった。

(21') 政権入りする前で自由な立場だった。だからこそ、あれだけの事が言えた。

(28') 調査研究に従事していた。だからといて、私が諜報の専門家として伸びてゆくのに邪魔になるようなことはなかった。

それでは、カラ節以外の「か」「こそ」を付けることができる従属節を含む複文を二文に分けて表現した場合に、その二文を繋げる働きをする表現に「か」「こそ」を付けることができるであろうか。このことを次節で検討する。

4. 「か」「こそ」が付く複合的な接続表現

本節では、3節で取り上げた「か」が付く従属節「～ためか(原因・理由)」「～せいでか」「～時だったか」「～ためにか(目的)」「～のか(事情)」「～てか(状況)」, 「こそ」が付く従属節「～てこそ」「～ばこそ」「～時こそ」「～てからこそ」「～ため(に)こそ(目的)」について、複文を二文に分けて表現した場合に、その二文を繋げる働きをする表現に「か」「こそ」を付けることができるかどうかを検討する。

試しに、3節で挙げた用例を用いて、できるだけ元の表現を生かして二文に分けて言い換えてみる。

(14') 明朝は日帰りゴルフだからと早寝した。そのためか、二時過ぎに目覚めてしまった。

19 「から」3,116件の中にも、実質的用法や誤解析の用例は含まれている。

20 「ので」については、5節も参照。

21 例文の冒頭の「*」は、その例文が不自然であることを示す。

- (15') 午後からの出張がある。そのせいでか午前中はなにかと慌ただしい。
- (16') ??2年生の時。その時だったか、クラブで足の裏の「骨が欠ける」事件が発生した。²²
- (17') ??(よし池のアオサギも寒そうだ。)体を温める。そのためにか時々飛んで場所を変えていた。
- (18') *もう大丈夫と判断した。そうしたのか、天武は自分の本音を出した。
- (19') *熊谷曹長はその時の感激を思い出した。そうしてか、声を詰まらせる。
- (20') ??教師が自ら考える力を持つ。そうしてこそ、子どもに学ぶ意欲がわいてくる。
- (22') 地獄めぐりを通してしか浄土に接近できない生を生きる庶民である。そうであればこそ／であればこそ、見世物小屋を楽しみ、生のおどろおどろしさを、その場だけでも引き受けてくれることに安堵するのだ。
- (23') ??外からでは見えない、互いの人格や才能を発見する。そうした時こそ真の互いの顔が見えてくる。
- (24') ??基本の知識を得る。そうしてからこそ、自由に独創的な考え方ができる。
- (25') ??同じ人間でも、国や民族によって負っている文化や歴史には違いがある。その違いを認め合い、共存を図る。そのためにこそ、私たちは英語を学ぶのである。

原因・理由を表す「～ためか」「～せいでか²³」「～ばこそ」は指示詞を伴った(14')(15')の「そのためか」「そのせいでか」や指示詞を伴う形か伴わない形の(22')の「そうであればこそ」「であればこそ」という複合的な接続表現に問題なく言い換えることができる²⁴。原因・理由を表す内容自体は、それが後続文の内容の原因・理由になっていなくても、一文として表現することは可能であり、原因・理由の内容に当たると話者が確定的に捉えれば「か」を付けずに「だから」「そのため」「そのせいで」を用い、原因・理由の内容に当たると不確定的に捉えれば「か」を付けて「だからか」「そのためか」「そのせいでか」を用いることになる。また、「逆説的な原因・理由」「原因・理由の強調」であることを示す場合に「だからこそ」「そうであればこそ」「であればこそ」を用いることになる。「そのためか」「そのせいでか」「そうであればこそ」「であればこそ」の実例を次に挙げておく。

- (32) 水を含んだ灰はまさに粘土となり、路を5センチから十センチ高くしていた。そのためか、役場の建物も家も本来より低く見える。(PB13_00180)
- (33) 三十過ぎの小柄なママが一人でやっていた。色は白いが、鼻筋が短くて、低い。そのせいでか、人が良くみえる。(LBc9_00176)
- (34) 能登入封の年はじつは確定していないのですが、この年十二月に、利政が蒲生氏郷の娘の藉と結婚しているところから推せば、それ以前と考えるのが自然でしょう。そうであればこそ、聚楽第でおこなわれた婚儀が盛会であったのもうなずけるのです。(PB22_00114)
- (35) 主体が強く押し込まれることは、他にはない理解の手段ではあるが、また同時に、同義反復的な主張におちいるという罫も、そこに待ちかまえている。であればこそ、さまざまな概念についての厳密な考察とその突きあわせとが、今まで以上に必要になっているのである。(LBd3_00002)
- 時や目的を表す「～時だったか」「～ためにか」も二文に分け、(16')(17')のように、指示詞を伴った「そ

22 例文の冒頭の「??」については、本文21頁参照。

23 「で」の付かない「～せいか」「そのせいか」の形も同様に使われる。

24 安達太郎(1995)は、「原因理由節が「カ」の付加を受ける場合には、従属節が文として独立し、それを代用形式で受けるという例がしばしば見られる。」(：251)と指摘して、「だからか」「そのためか」「そのせいか」の例文を挙げている。なお、安達太郎(1995)は、原因・理由を表すノデ節に「か」の付加が許されないことについて「意味的な現象ではなく、形態論的な制限である」(：260)としている。

の時だったか」「そのためにか」という複合的な接続表現を補って言い換えることは一応は可能だが、従属節の内容を表す文は「真正モダリティをもたない文」²⁵（野田尚史1989）である（例文冒頭の「??」はこのことを示す）。「こそ」が付く「～てこそ」「～時こそ」「～てからこそ」「～ためにこそ」についても、(20') (23') ~ (25') のように指示詞を伴った「そうしてこそ」「そうした時こそ」「そうしてからこそ」「そのためにこそ」という複合的な接続表現を補って言い換えることは一応は可能だが、やはり、従属節の内容を表す文は「真正モダリティをもたない文」である。

このように、二文に分けて言い換えた場合の従属節の内容を表す文は、主節の内容を表す文に従属している。ただし、「その時だったか」「そのためにか」「そうしてこそ」²⁶「そうした時こそ」「そのためにこそ」の実例²⁷を見ると、前文が「真正モダリティをもたない文」ではない用例が多い。次に実例を挙げる。

- (36) さてさて大蛇倉沢と聞いて「ああ！アソコね！」と言う人はほとんど居ないだろう。上野村の人に聞き込みをしたが知っている人は居なかったのだ。実は去年もこの大蛇倉沢を探しにこの中止の滝付近まで来たのだが、場所がわからずそのまま引き返してしまった。だがその時だったか壁さんが上野ダムの先にゲートがある。と教えてくれたのがキッカケで今回ようやく大蛇倉沢を発見する事ができた。（<http://ameblo.jp/lascalles2/entry-12215831964.html>）（2017.3.16閲覧）
- (37) 無事専門教科ありの試験が終わりました！がっつりとサイトを改装しました。どこか不備等ございましたら、ご一報いただくと大変助かります。とりあえずは、彩雲国の原作沿いを書ききって、ensembleの更新に入りたいと思っています。そのためにか、P S 2 T O Sを頑張ってプレイ中です。（<http://zaregoto0429.blog71.fc2.com/blog-entry-622.html>）（2017.3.16閲覧）²⁸
- (38) いま高みにある人は、謙虚な態度を忘れず、他人を尊重しなければなりません。一方、いま底辺にある人は、けっして絶望せず、大志を抱き、向上しつづけねばなりません。そうしてこそ、社会との調和が保たれるのです。（PB54_00075）
- (39) これから受験本番に近づくにつれて、何度も壁に当たることになるでしょう。そうした時こそ、この言葉を思い出してください。ピンチをチャンスに変えてくださいね。（<http://www.seiki.jp/>

25 野田尚史（1989）は「話し手の発話時の心的態度を直接に表明しているときのモダリティ」を「真正モダリティ」と呼び（：133）、（ア）の波線のような文を「真正モダリティをもたない文」と呼んでいる。さらに、「真正モダリティをもたない文」の特徴として「真正モダリティをもたない文は、文の形はしているが、他の文に従属しているのので、それを示す指標としての指示語が他の文の中にある場合が多い。」（：138）としている。

（ア）大学の目的の一つは、にせものと本ものを見わける目を養うことだろう。この書物の記述はおかしい、と見抜く。

そういう判断力を育てるのが大学の役目の一つだろう。（朝日新聞1988.3.6朝1 天声人語）（野田尚史1989：132）

26 「そしてこそ」の用例を見付けることができる。これらの「そして」には動作性が強く感じられる。「そしてこそ」の縮約形と考えられる。

（ア）マハトマ・ガンジーは「権利のガンジスは義務のヒマラヤに発す」と述べた。我々は誰しも、善を行い、悪を避ける義務を負っているのである。そしてこそ人生において魂の自由を享受できるのである。（<http://www.utitokyo.sakura.ne.jp/uti-index-gaiyou01-symposium01-2014-0831-doi.pdf>）（2017.3.16閲覧）

（イ）そこで政府のなすことは、国民的統一の重要性を闡明し、国民的当為の問題を世界史的視野の中で解決することを指導育成することである。それは国民個々に考えさせ、結集に努めることであり、政党政治の弊を出来るだけ避け、政府与党に対し、事毎に野党が反対する如きことをなからしめる様努めることである。そしてこそ益々与党は国民に支持されるのである。（梶田信吾（1966）「政治と教育—道徳教育をめざして—」『大分県立芸術短期大学研究紀要』第4巻、20-21頁）

27 「そうしてからこそ」の実例は見付けていない。

28 「そのためにか」は原因・理由を表しているとも解釈できる。明らかに目的を表す「そのためにか」の実例は見付けていない。

toshin/classroom/toshin_enmachi/2015/10011024.html) (2017.3.16閲覧)

- (40) ソ連を除けば日本の力がいちばん大きいからである。そこで日本が石油ショックから完全に立直らぬうちに、断固として、日本を叩いておかねばならない。そのためにこそ、ロッキードを通じて、日本を狙い撃ちしたのである。(OBIX_00261)

「事情」「状況」を表す「～のか」「～てか」については、(18')(19')のように、指示詞を伴う「そうしたのか」「そうしてか」という複合的な接続表現を補ったとしても、従属節の内容を一文に独立させて言い換えることが難しい²⁹。「真正モダリティをもたない文」としての解釈もできない。

さて、以上のように、カラ節以外の「か」「こそ」が付く従属節を持つ複文を二文に分けて表現した場合に、指示詞を伴う複合的な接続表現に「か」「こそ」を付けることによって、その二文を繋げることができることを見てきた。

「だからか」「だからこそ」は、指示詞を伴う複合的な接続表現に「か」「こそ」を付けた表現に相当するものである。こうした複合的な接続表現にまで範囲を広げて考えると、意味的・形態的に可能であれば接続表現に「か」「こそ」を付けることは問題なくできる。「だから」は一語の接続詞として扱われているために、接続詞の中でも「だから」だけが「か」「こそ」及び「といて」を付けることができ、そのために特徴とされていると言える。

5. 関連する表現について

5.1 「それだから」「そうだから」など

接続詞「だから」は、指示詞を伴う「それだから」がもとになっている。「それだから」は近世江戸語で

29 安達太郎(1995)は、「～のか」を伴うノカ節は、従属節を文として独立させ「そうなのか」などの「代用形式」を使って言い換えることができないことを指摘している(：251-252)。ノカ節の従属節事態は「真偽が明らかでない事態」として扱われ、ノカ節は「従属節に差し出される事態そのものを不確定的に表示」(安達太郎1995：250)している。「～のか」の従属節の内容を一文にして言い換えることが難しいのは従属節事態が「不確定」であることが関わっている。なお、(18)を「*もう大丈夫と判断したのかもしれない。そうしたのか/そうなのか/そうしてなのか、天武は自分の本音を出した。」のように、従属節事態に「のかもしれない」などを付けて不確定として表現しても言い換えることは難しい。「～てか」に関しては、安達太郎(1995：261)は、「従属節事態の確定性について、二つの場合がある」とし「従属節事態は確定的であり、因果関係を不確定的に扱っている」場合((ア))と「従属節事態そのものが話者の推測によって得られている」場合((イ))を挙げ、前者はノカ節に置き換えられず(置き換えた例文に「?」を付している)後者は置き換えられることを指摘している。前者の従属節事態が確定的である場合は、(ア')のように、二文を繋ぐ接続表現に「こともあってか」全体を使うことによって、従属節の内容を一文に独立させて言い換えることができる。ただし、(ア'')のように二文を繋ぐ接続表現に「てか」だけを使って言い換えることは難しい。

(ア) 吉松氏は、高校時代にロックバンドをしていたこともあってか、「ポピュラー音楽は、客を動員してこそプロ、という厳しさがある。やりたいことをやって、自分だけわかればいい、というのはアマチュアだ」と言い切る。

『AERA』1993年1月12日(安達太郎1995：261)

(イ) 『月刊金曜日』の7月23日号は「創刊祝い」的な意味もあってか飛ぶような売れ行きでした。『月刊金曜日』1993年8月27日号編集後記(安達太郎1995：261)

(ア') 吉松氏は、高校時代にロックバンドをしていたこともある。そうしたこともあってか/そんなこともあってか、「ポピュラー音楽は、客を動員してこそプロ、という厳しさがある。やりたいことをやって、自分だけわかればいい、というのはアマチュアだ」と言い切る。

(ア'') *吉松氏は、高校時代にロックバンドをしていたこともある。そうしてか/そうあってか、「ポピュラー音楽は、客を動員してこそプロ、という厳しさがある。やりたいことをやって、自分だけわかればいい、というのはアマチュアだ」と言い切る。

成立し、幕末期から明治にかけて指示詞を伴わない「だから」が発生し定着していったと見られる³⁰。

「それだから」は現在でも使われる。

- (41) 図書館通いをしてから間もなく、太郎君は学校の研究発表で半導体摩擦、ハイテク摩擦の歴史について発表するはめになった。というのも、弟の次郎君に説明しただけではあきたらず、学校のパソコン仲間にちょっとえらそうに説明したりしたからだ。でも、太郎君は多少自信があった。もともと興味のあることだったし、あれだけ勉強したのだから…と思っていたからだ。それだから、発表の後、先生からの質問に答えられなかった時はかなり気落ちした。(LBg3_00067)

「それだからか」「それだからこそ」「それだからといて」も同じく使われる。

- (42) ドラッグ、金、偏見、売春。主人公たちも若さゆえか、まっすぐに、暴力的にその真っ只中に入り込んでいく。この原作が書かれた当時、作者は19才だったそうだ。それだからか、この若さでしか書ききれない、自暴自棄なやり場のない切なさが伝わってくるようだ。(http://arrobaspain.com/cine/cine2000.shtml) (2017.3.16閲覧) (「梵天」)

- (43) チンパンジーと人間の発声器官の違い 喉頭が喉の低い位置にあるため、ヒトは呼吸とものを飲み込むことを同時にすることができない。しかし、それだからこそ、いろいろな音声をつくりだすことができる。(LB14_00010)

- (44) “恩”は「忠君愛国」を暗示している、と誤解されても仕方がない。だがしかし、それだからといてすべてを否定しては、かえって物事は後退してしまう。(PB51_00115)

また、「そうだから」の後に「か」「こそ」「といて」が付いた「そうだからか」「そうだからこそ」「そうだからといて」、また「そうするから」「そうしたから」の後に「か」「こそ」「といて」が付いた「そうするからか、そうしたからか」「そうするからこそ、そうしたからこそ」「そうするからといて、そうしたからといて」の形でも使われる。

- (45) 全体的にカレー寄りになってる感ありましたが、そうだからか赤い福神漬が付いてたのがなんか懐かしい感じ。(http://gfdan.blog59.fc2.com/blog-entry-411.html) (2017.3.16閲覧) (「梵天」)

- (46) いやいや、相も変わらずお堅い。もっとも、そうだからこそ国政を安心してお任せできるし、我々も自分の仕事に専念できるというものですな。(PB19_00489)

- (47) 工業化で蚊の発生水域が少なくなり、農薬や殺虫剤の大量使用で蚊が少なくなり、マラリアを媒介することができなくなったことなどが関係しているであろう。しかし、そうだからといて、日本でマラリアの流行は二度と起こりそうもない、と考えるのは間違いである。(PB24_00023)

- (48) 誕生日などのプレゼントは、必ず贈りました。(そうするからか、彼も必ず特別な日には何かを送って祝ってくれました) (http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1449216854) (2017.3.14閲覧)

- (49) 答えを出すことに疲れた私は、考えることをやめる。そうしたからか、静けさがやけに目立つ。(http://bbs1.aimix-z.com/mtpt.cgi?room=mazyo&mode=view&no=6697) (2017.3.14閲覧)

- (50) 常に、なにかを言おうとしてみる。発言しようとしてみる。そうするからこそ、得られるものがあるかもしれません。(http://ameblo.jp/nlp-ot/entry-12162139774.html) (2017.3.14閲覧)

- (51) 私はビジョンや考え方も社員と話し合ってつくりました。そうしたからこそ、いろんな意見が出やすくなったし、議論が活発になる素地が出来たと思います。(http://akindonet.exblog.jp/23988899/) (2017.3.14閲覧)

30 小西いずみ (2003), 矢島正浩 (2013) 参照。

- (52) アユムも、クレオも、パルも、1歳半頃から、棒を穴に入れるようになった。そうするからといっ
てごほうびがもらえるわけではない。(http://langint.pri.kyoto-u.ac.jp/ai/ja/k/011.html) (2017.3.14
閲覧)
- (53) 俊哉の発するものをキャッチするためには、こちらの周波数をより高く細やかにしておく必要が
あった。ただそうしたからといって、彼のすべてを理解できるわけではなく、いまだにわからない
ことも多い。(PB19_00513)

こうした指示詞を伴う「それだから (か/こそ/といって)」「そうだから (か/こそ/といって)」「そう
するから (か/こそ/といって)」「そうしたから (か/こそ/といって)」は、いずれも指示詞を伴わない「だ
から (か/こそ/といって)」に置き換えることができる³¹。

5.2 「それゆえに」「それで」「したがって」

原因・理由を表す他のいくつかの従属節及び接続詞について、「か」「こそ」「といって」を付けることが
できるかどうかを見ておく。

「～ゆえに」は、(54)～(56)のように従属節に「か」「こそ」「といって」が付いた用例がある。また、(57)
(58)のように「それゆえにか」「それゆえにこそ」の用例もある³²。

- (54) その名を橋姫と申したゆえにか、水にゆかりの貴船明神は願いを聞きとどけ、そなたの母者は鬼
女となられた！(LBo9_00260)
- (55) パウロは、新しいよりどころと出会い、本当の希望を知ったゆえにこそ、すべてを失ったのです。
(http://www.senzoku.org/201105.htm) (2017.3.16閲覧) (「梵天」)
- (56) こののち、光慶には医家として再度の名誉を受ける機会が訪れる。それは將軍秀忠の意向による、
千姫の侍医にという要請である。しかし、光慶は老病を口実に固辞し、近江に去ったのである。系
図に、「然厭往江府」と記すことから、おそらく、かつて豊臣家の恩顧を破った身でありながら、
世が改まったゆえといって、徳川家に従い仕えるなどということを潔しとしなかったから、と思わ
れる。(http://www.ab.auone-net.jp/~hayami/senke.html) (2017.3.16閲覧)³³
- (57) 古くから精霊が宿る木として知られているガジュマル。太くなった気根や独特の樹形は大変魅力
的です。生命力を感じさせるその姿から「健康」という花言葉が添えられています。それ故にか「幸
せを呼ぶ木」「多幸の木」として知られる人気の観葉植物です。(http://www.rakuten.ne.jp/gold/
hachibito/item/tb/tb010.html) (2017.3.16閲覧)
- (58) この二十二年の間、我ら蝦夷軍は一度たりとて敵に敗れはしなかった。それゆえにこそ敵は我ら
を恐れ、和賀や志和の仲間らを受け入れたのだ。(PB29_00064)

「それで」に「か」「こそ」が付いた「それでか」「それでこそ」の用例は、(59)(60)のように見付けるこ
とができる。

「それで」は、直接対応する従属節はない³⁴が、指示詞「それ」と原因・理由を表す助詞「で」とから構
成されていることが、「それでか」「それでこそ」の形を可能にしていると思われる。「それでこそ」につい

31 ただし、「そうするから (か/こそ/といって)」「そうしたから (か/こそ/といって)」は、「する」が付くため動作性
がより強く感じられる。

32 「それゆえに」といって」の用例は見付けていない。

33 「～ゆえに」といって」の用例は見付けていない。

34 「雨が降ったことで、試合が中止になった。」のような名詞節も含めると、「雨が降った。それで、試合が中止になった。」
と対応させることができる。

ては、「文頭に用いて、「そういう理由だから」という意味を表す。あることがらや人物の資質を取り立てて、そういった理由でそのことがら(人物)を高く評価する場合に用いる。プラスの評価の場合にしか使わない。古めかしい言い方。」(グループ・ジャマシイ(編著)1998:174)と説明されている。

- (59) 相次ぐ米軍の発砲事件 そうだ。一人の韓国人が撃ち殺されても除隊して九カ月だけ苦勞すればいいのだ。それでか米兵はまるで道楽を楽しむように殺し、また殺した。そして、また…。

(LBp2_00030)

- (60) 以上のように、殷代には、農業も牧畜もあったことが知られるが、中国の国家としての殷というものを考えるならば、当然農業が基本であったのである。それでこそ、強力な王朝をきずくだけの富の蓄積もできたのであり、その上にたってはじめてあのすばらしい青銅器の技術も発達したのであった。(LBp2_00083)

また、「したがって」に「か」が付いた「したがってか」の用例も(61)のようにあるが極めて稀であり、原因・理由を表すという意味からの類推で使われたと思われるが、不自然さが残る。

- (61) アメリカ人との感覚の違いの一つは、我々日本人はトイレを長年『汚い場所』として扱ってきた。僕が子供の頃は、トイレのことを世間では『ご不浄』と表現もしていた記憶がある。かれらのトイレに対する理解は風呂で有ったり、人間生活の欠くことのできない大切な場所として捉えてきたのだろう。従ってか、彼ら米人の多くは床が水(?)で濡れた場所にも平気で荷物を置く。(http://www.eonet.net.jp/~tanishi/restrooms.html) (2017.3.16閲覧)

「だから」に「か」「こそ」「といて」が付くのは、「だから」が意味的に原因・理由を表すことが関わっている。ただし、原因・理由を表すという理由だけで、「か」「こそ」「といて」が付くのではなく、対応する従属節に形態的に「か」「こそ」「といて」が付き得るかどうかが関係している。

5.3 「ので」

接続助詞の「から」と「ので」の違いとして、「から」には「か」「こそ」「といて」を後に付けることができるが、「ので」には付けることができないということは、以前から指摘されている³⁵。

ウェブ上で、次のように「～のでか」「～のでこそ」「～のでといて」の実例を見付けることができる。いずれも不自然であろうが、こうした実例が見付かることを、本稿では指摘しておく。

- (62) 仲良し先輩と一緒に稽古。冷たい雨なのでか、来る人もあまりいない。(http://blog.livedoor.jp/turbo944/archives/2012-05.html) (2017.3.17閲覧) (「梵天」)

- (63) その時はやはり国道沿いの一等地なのでか県外ナンバーのお客さんもたくさん入ってました。(http://ameblo.jp/blog-kamechan/entry-10057789404.html) (2017.3.23閲覧) (「梵天」)

- (64) オランダは小さい国なのでこそ多様性を受け入れたところがあるんですがね。。。歴史的にいろいろな紛争があったり、侵略したりされたりを繰り返してきた国でもありますし。(http://sahara-ch.com/44680/) (2017.3.17閲覧)

- (65) ただ惜しむらくはやはりWEB受注商品のため、これからスクライドにハマった人が買えない、というのが非常に残念(逆に受注品なのでこそこの出来なのかも知れませんが)。(http://blog.goo.ne.jp/k20080131/e/95091192aefe5e18732beba25a3b6cd9) (2017.3.17閲覧)

35 永野賢(1952)は、接続助詞「から」と「ので」の違いの一つとして、「から」には、「は」「こそ」「とて」などの係助詞や、「といて」などをつけて、特に提示する用法がある。(中略)こういう使い方は、「ので」には全くない。(:35)ということを経験している。

- (66) どうしようもないのですが、責任感の出ている人間であればあるほど過労死などで死亡してしまう確率が高くて、更には有名企業なのでといって過労死が出てきにくいわけじゃありません。

(<http://evenfall.org/karousi11.html>) (2017.3.17閲覧)

また、近年、「なので」が文頭に置かれ、接続詞として使われるようになってきている。文頭の「なので」に「か」「こそ」の付いた「なのでか」「なのでこそ」³⁶の実例もウェブ上で見付けることができる。やはり不自然であろうが、こうした表現が可能なのは、「なので」が意味的に原因・理由を表しており、「だから」からの類推があるからであると考えられる。

- (67) 今日はマスタークックではじめて「水なし炊き」をしてみました。DVDのマスタークックは6号浅型鍋だと思んですけど、なんか材料が多すぎたのか、パンパンになってしまいました。なのでか、煮る時間が15分どころか、1時間半くらいかかったのですが・・・弱火すぎたのかなあ。

(<http://hibitano.blog52.fc2.com/blog-date-200611.html>) (2017.3.17閲覧) (「梵天」)

- (68) 大阪府豊中市の、私が生まれた近くにも神崎川という川が流れていて、育った清水にも大沢川があり、今は安倍川の近くに住んでいます。なのでか、大きな川を見ると落ち着くということに、初めて気づきました。(<http://www.freeml.com/bl/8812314/203536/>) (2017.3.17閲覧)

- (69) 兄さんぜんぶ好きスキ好きっ><

…まあだいたい自分は昔から、

好きになったら一直線と言うか全肯定と言うか

そういう所があるんですがフヒ

でも、なのでこそ実力のある人でないと好きにならないですものっ。

そこは兄さんおよびV6を見てたらお分かりかと思うけどNE！フフ (<http://shelter23.blog37.fc2.com/blog-date-201104.html>) (2017.3.17閲覧) (「梵天」)

- (70) 「本音と建前」ドイツ人のその愚かしい2分化主義がいけないのだ。

それだけでもう負けている。なぜならイスラムはその2分化主義こそをおかしいという宗教だからだ。彼らにはその区別はないのである (なのでこそ彼らの主張する「イスラーム」が可能となる。そこには一貫した見方がある。ドイツ人はその一貫した見方に気付かない。文献にあふれてるのに。ドイツ人はまじで何の研究もしてないんだと思う。ドイツ人は、少なくとも現在のドイツ人は、馬鹿である)。(<http://d.hatena.ne.jp/losttechnology/?of=21>) (2017.3.17閲覧)

6. まとめ

接続詞「だから」は、「か」「こそ」「といて」が後に付いた「だからか」「だからこそ」「だからといて」という形で使うことができ、「だから」の特徴の一つであるとされる。本稿では、「だからか」「だからこそ」「だからといて」という形が存在する理由を、「か」「こそ」「といて」が付く従属節の意味的・形態的特徴及び指示詞を含む複合的な接続表現の観点から検討することを通して、「か」「こそ」「といて」が付く接続詞及び接続表現の特徴について考察した。

接続詞「だから」に「か」「こそ」「といて」が付くことができるのは、もともと、意味的・形態的に、原因・理由を表す接続助詞「から」を伴う従属節(カラ節)に「か」「こそ」「といて」を付けることができることによるものである。

36 「なのでといて」の実例は見付けていない。

また、「そのためか（原因・理由）」「その時だったか（時）」「そうしてこそ」「そのためにこそ（目的）」など指示詞を含む複合的な接続表現を使うことによって、「か」「こそ」が付く従属節を含む複文を二文に分けて言い換えることができる。こうした指示詞を伴う複合的な接続表現にまで範囲を広げて考えると、意味的・形態的に可能であれば指示詞を伴う複合的な接続表現に「か」「こそ」を付けて使うことは問題なくできる。「だからか」「だからこそ」は、こうした指示詞を伴う複合的な接続表現に「か」「こそ」を付けた表現に相当するものである。「だから」は一語の接続詞として扱われているために、接続詞の中でも「だから」だけが「か」「こそ」及び「といて」を付けることができ、そのために特徴とされていると言える。

本稿では、さらに、「だから」に関連する形の「それだから」「そうだから」「そうするから」「そうしたから」、原因・理由を表す「それゆえに」「それで」「したがって」、接続助詞「ので」がももとなった接続詞的用法の「なので」のそれぞれに「か」「こそ」「といて」が付いた形に関しても補足的に取り上げた。

参考文献

- 安達太郎（1995）「『カ』による従属節の不確定性の表示について」仁田義雄（編）『複文の研究（上）』くろしお出版、pp.247-263.
- グループ・ジャマシイ（編著）（1998）『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版.
- 小西いずみ（2003）「会話における『ダカラ』の機能拡張——文法機能と談話機能の接点——」『社会言語科学』6(1), 社会言語科学会, pp.61-73.
- 永野賢（1952）「『から』と『ので』とはどう違うか」『国語と国文学』29(2), 至文堂, pp.30-41.
- 野田尚史（1989）「真性モダリティをもたない文」仁田義雄・益岡隆志（編）『日本語のモダリティ』くろしお出版, pp.131-157.
- 野田尚史（2007）「現代日本語の主張回避形式——『若いから か/だろう/と,断られた』の『か』『だろう』『と』——」『日本語文法』7(1), 日本語文法学会, pp.36-51.
- 服部匡（1992）「現代語における『～か』のある種の用法について」『徳島大学国語国文学』(5), 徳島大学国語国文学会, pp.57-65.
- 馬場俊臣（2016）「接続詞『だから』をめぐる——『しかしだから』『だからこそ』『だからか』『だからといて』——」『北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編』67(1), 北海道教育大学, pp.1-14.
- 藤田保幸（1987）「『～トイウト』『～トイエバ』と『～トイッテ』『～トイッテモ』——複合辞に関する覚書——」『愛知教育大学国語国文学報』(44), 愛知教育大学国語国文学研究室, pp.141-152.
- 藤田保幸（1998）「複合助辞『トイッテモ』『トイッテ』『トハイエ』について」『滋賀大國文』(36), 滋賀大國文会, pp.12-25.
- 藤田保幸（2000）『国語引用構文の研究』和泉書院.
- 前田直子（1997）「原因・理由を表す『ばかりに』と『からこそ』」『東京大学留学生センター紀要』(7), 東京大学留学生センター, pp.25-41.
- 前田直子（2008）「『こそ』でとりたてられた従属節について——『からこそ』『ばかりこそ』『てこそ』——」『日本語文法学会第9回大会発表予稿集』日本語文法学会, pp.158-165.
- 前田直子（2009）『日本語の複文——条件文と原因・理由文の記述的研究——』くろしお出版.
- 矢島正浩（2013）『上方・大阪語における条件表現の史的展開』笠間書院.
- 劉怡伶（2006）「接続語『だから』の意味・用法——前件と後件に因果関係が認められる『だから』を中心に——」『日本語教育論集 世界の日本語教育』(16), 国際交流基金, pp.125-137.

付記 本研究はJSPS 科研費JP16K02715の助成を受けたものである。

（札幌校教授）